



## 2) 今回、福岡へ来られた理由は？

日本財団との関連で福岡へ来ました。私は2年前、日本財団の管轄である Asian Public Intellectual(API)プログラムの研究奨学金を受けました。このプログラムは国の枠を超えた研究と、社会・人・環境・芸術・文化的側面の交流を促進しています。私は2004年にタイと日本でのダム反対運動の戦略と動向を研究することを申請しました。日本では5ヶ月間(2004年6月から10月)、日本でのダム問題をたくさん知るために、さまざまな人々や団体を訪問しました。また、タイでは2ヶ月半(2004年2月から3月、11月から12月)、同様な活動を行いました。主な成果はタイと日本それぞれのダム反対の2本のビデオにまとめています。また、近々日本財団のAPI出版物として論文が発表されます。

福岡での会議は、API関係者の研究成果を紹介するために日本財団が企画しました。タイ、マレーシア、フィリピン、インドネシアなどから経験豊かで高名な研究者も招待され、API関係者の活動について論評しました。

私の発表に使用した書類も、よろしければご覧ください。(注)

## 3) 日本のNGOについて、どう思いますか？

私の個人的な経験からいえば、マレーシアのNGOと比較すると日本のNGOはとても組織化されていて能率的だと思います。同じようなことに関心を持つ多くの団体間のネットワークが、共通の目的のためにそれぞれの組織の活動を戦略的に行うことに慣れている、ということも印象的です。マレーシアではネットワークは円滑に活動しているとはいえません。それは、おそらく限られた財源から資金を得る競争をしているためです。日本のNGOと市民団体とのネットワークは私のマレーシアに戻ってからの活動に大いに活気をもたらしてくれるでしょう。

## 4) 日本のNGOに何を期待していますか？

NGOの主な機能は一般市民と問題をつなぐ架け橋になることです。活発に情報を伝える経路を維

持し、人々にメッセージを送る新しい方法を独自に探すことです。吉野川ダムについてのキャンペーンは一般の人々に情報を伝える、とても成功した運動でした。

もし国境を越える問題があれば、日本のNGOは日本側から情報を得るために協力することができ、また、影響を受ける国へ情報を伝えることができます。日本人は、日本の公的機関に対してその態度を変えさせるために圧力をかけたり、被影響国の状況改善を推進することもできます。人権問題については、日本政府は非常に敏感であるべきだと思います。



Sam Hui さん

## 5) 日本政府はODA(政府開発援助)の運用に関して、国益を重視する方針です。このことについてあなたのご意見は？

もし適切にそれが実行されるなら、"aid"に悪いこと

はありません。ODA は公的機関によって、あるいは利害を持つ企業によって、善意の名の下にしはば誤った使い方をされています。

日本政府は ODA について、倫理的な面で高いレベルの基準をセーフガード機能に持たせるべきです。その過程が十分に透明で、また、国際的な人権基準における違反行為が全くない、ということを実証させるためです。適正な人権と環境に配慮する仕組みを持たない被援助国に対しては、日本政府は改善を要求するべきです。しかし、多くの場合、日本政府は”チェックリスト”を使う方法をとっていないように、このことにあまり注意を払っていません。これは現地の法が守られているならば結構だ、現地の法が人権を侵害しているかどうかは調査しない、ということの意味しています。

#### 6) 日本の NGO と市民にメッセージをお願いします。

(なんだか私がとても重要人物みたいですね、1 国の大統領が有名な映画スターみたいに。(笑) ともかく、以下が私のメッセージです)

「正」と「不正」の闘争は、決して終わらない”ゲーム”のようなものです。人はこのゲームに熱中し、大いに情熱と時間を費やします。私たちが国家と市民という仕組みを持っている限り、このゲームは続くでしょう。もしあなたが市民の側に立つことを選ぶなら、参加することを放棄しないでください。私は関わり続けることは様々な点で困難だとわかっています。しかし、私たちが共有する未来のための努力はあらゆる成果に結びつくものだと、私はみなさんに保証することができます。

日本は身近な地域社会の段階から、中央政府というさらに高い段階まで選挙制度が整った幸運な国です。政府を中立化することに着手し、あらゆる段階で市民の立場の候補者を立てましょう。そうすれば、みなさんはプレーする、つまりゲームに参加するためのより公正な舞台を得ることができると思います。

どうもありがとうございました。

注：Sam さんの論文をご覧になりたい方は FNA 事務局へご連絡ください。英文 15 ページの書類です。

または FNA のウェブサイト (<http://fna.nngo.jp/>) 内「フリーケース」よりダウンロードできます。

## 情報ファイル

### アジア開発銀行 年次総会について

アジア開発銀行の第38回年次総会が2005年5月4日～6日、トルコ・イスタンブールで開催されます。関連イベントは5月2日から企画されているとのことです。

NGOはオブザーバー参加が認められますが、参加のためには通行証が必要です。通行証の申し込み締め切りは2005年2月25日。

アジア開発銀行 NGO センター [ngocoordinator@adb.org](mailto:ngocoordinator@adb.org) へ連絡してください。

詳細は ADB のウェブサイト <http://www.adb.org/AnnualMeeting/2005/> 参照。

## 東北タイ ソンクラム川の話

2004年9月26日、福岡市・箱崎公会堂で開催された「川辺川を食べよう！～川辺川直送鮎と球磨焼酎～」(川辺川を守る・福岡の会主催)にタイからの訪問者2名が参加してくれました。

バンコク・マヒドン大学のドクターコースで開発言語学を学びながら地域型観光・エコツーリズムに取り組むNGO RESTで活動しているKrisdaと、TERRA (Towards Ecological Recovery and Regional Alliance) スタッフで東北タイ・ナコンパノム県にあるメコン川支流、ソンクラム川でダムと河川開発問題を担当しているBampen Chaiyarak (ニックネームAw) の2人でした。

川辺川イベント後半には、Awが東北タイのダムと開発問題について写真を交えつつ報告をしてくれました。

そのお話の概要をまとめましたので、報告します。なお、文中には「写真」とありますがここには掲載していませんのでご了承ください。

寺嶋 悠 (てらしま・ゆう=FNA 運営委員、川辺川を守る会会員)

メコン川は中国雲南省を源流に持ち、ビルマ、タイ、ラオス、再びタイ、ラオス、カンボジア、ベトナムを流れる非常に長い川である。その流域には、多くの支流が存在する。

政府はタイ東北部を将来の輸出用農業生産地域として考えており、東北タイにも灌漑用のダムが数多くある。タイのダムの多くは、灌漑と発電を目的としたものである。(地図) これはメコン川の支流ムン川で、黒い印は大規模ダムである。小さなダムは数多くあり、政府灌漑局の発表によると、東北タイには2万ものダムがある。

そのうち、ソンクラム川は東北タイで唯一、巨大ダムのない川である。

政府はここに巨大ダム計画を立てていたが、住民の強い反対によって現在は中止されている。なぜ住民が止めることができたのかというと、パクムンダムやラーシーサライなど、他の地域ですでに巨大ダムが建設されており、それによってダムが地域と環境に何をもたらすかということを住民が知っており、住民やNGOによって強い反対運動が起きたためである。

私はTERRAというインドシナ半島で活動しているNGOのスタッフとして、2年前からこのソンクラム川において、伝統的な川の利用やfood securityをテーマに調査をしている。food securityとは、川と川に関連する自然環境から生産される食べ物を人びとがどのように利用しているかについて調べるもので、将来、この川の変化によって起きる健康面での被害を防ぐことが目的である。これまたのちほど触れる。

地域の人びとと政府との間で、川の捉え方が異なることはその呼び名の違いによっても分かる。政府はソンクラム川の河口のことを単にflooded area (氾濫地域)と呼ぶ。氾濫する地域で、氾濫はコントロールしなければならないものという否定的な意味である。しかし地元の人びとは、地元の言葉でここをpaa bun paa taamと呼ぶ。paa taamとはflooded forest (氾濫林) という意味で、水が氾濫する森林という、肯定的な意味である。

ソンクラム川などの支流における水位の増減は、メコン川の水位の増減と関係している。またメコン川には200種類もの回遊魚がおり、産卵のため遡上と回遊を繰り返す。支流の河口地域は雨期になると水位が上昇し、付近が水に浸かる。ソンクラム川河口地域はちょうどボウルのような形になっており、広い盆地と少し高い場所、部分的にさらに低い場所とがある。住民は少し高い、水

に浸からない場所に家を建てて暮らしている。

写真は乾期と雨期の間の様子で、村人が漁をしている。後ろに竹林が見えるが、雨期になるとこの森の上まで水位が上昇する。雨期と乾期では30mの水位差がある場所もある。雨期になると魚が遡上し、水が引くにつれて魚たちは浅くなった川や池の中に取り残される。浅い場所では舟を出さずに、女性や子どもたちでも漁をすることができる。写真は68歳の女性だが、まだまだ現役である。村人が漁をする場所は、昔から共有地として利用されてきた。つまり誰かの土地ではなく、誰でも入ることができ、誰でも漁をすることができる場所である。しかし、そこには慣習的にルールが存在し、誰かが占有したり乱獲したりすることがないよう均衡が保たれている。

氾濫林が村人にとって非常に重要なのは、漁の場所としてだけではない。村人は氾濫林から野菜や薬草などたくさんの植物を採集する。非常に生物多様性のある森で多くの生物や植物がここに生息している。お茶を栽培することもある。また河岸や川の中の島では、水が引いたあとの砂地をタバコや野菜などの畑として利用している。この土地も誰かの所有地ではなく、共有地である。このように、この森林と川はさまざまな形で地元の人びとの生活と密着している。

ところが、近年になってこの氾濫林に変化が起き始めている。

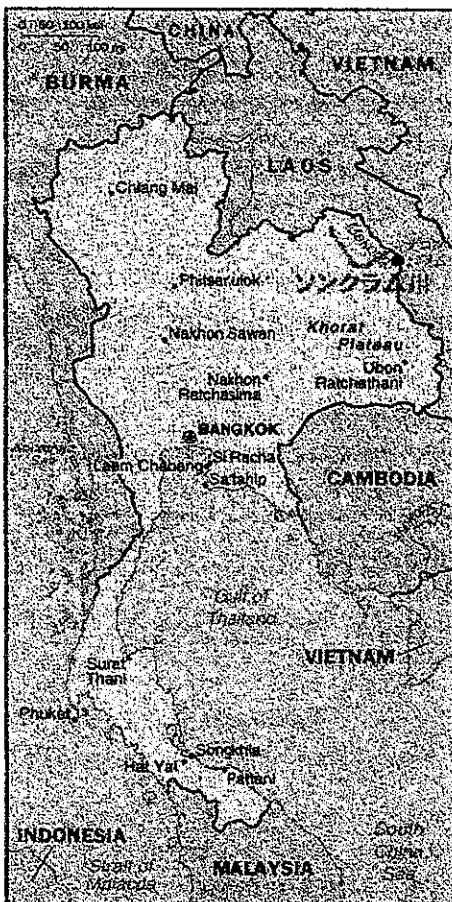
森林を伐採し、ユーカリやゴムの木を植林したり、大規模な農場に変えてしまったりという光景が見られている。森林を伐採し、ユーカリのプランテーションに変えると、生物多様性がまったく失われてしまう。付近にはユーカリをパルプにして紙を生産する製紙工場が作られ、その廃液は

川を汚染する。皆さんは「フリトレイ」というポテトチップスを食べたことがあると思うが、この写真は「フリトレイ」の原料となるジャガイモを栽培している農場である。ベビーコーンを栽培する農場もある。どちらも加工して輸出用に作られている作物で、このような環境の変化が増えている。

(写真) また、これはソクナム川上流に最近作られた中規模ダムである。高さが15m、横幅が35mである。住民たちはこのダム計画について何ら知らされていなかった。私たちが気が付いた時にはすでにこのダムは完成してしまっていて、ここから上流にもすでに3つの小さなダムが作られていた。

川と地域住民の関わりは深く、私たちは川の環境変化が住民に与えるかもしれない被害を防ぐため、調査を行っている。調査では、村人たちは調査「対象」ではなく調査の「主体」である。村人自身が川の変化や、川と伝統的に共存してきた知恵や知識を調べ、今後どのようにしていけばいいかを考える。それをNGOがサポートするというものである。

REST の URL <http://www.ecotour.in.th/>  
TERRA の URL <http://www.terraper.org/>



## ご協力のお願い

2004年12月26日のインドネシア・スマトラ島沖地震による地震・津波の被害状況についてはさまざまに報道されていますが、実際の犠牲者数がどれほどかということさえいまだ明らかになっていません。NGO・国際機関などの援助も始まりましたが、復興には長い時間がかかると思われます。NGOが取り組んでいる活動を以下にご紹介しますので、みなさまのご協力をお願いいたします。

### くるんて〜びの会 インドネシア・スマトラ島沖地震緊急支援へ 一皆様の義援金ご協力のお願い

スマトラ島沖地震により「巨大津波」が発生し、タイ南部の島々をはじめ各県に多くの死傷者と大きな被害をもたらしました。タイのプラティープ財団では、今後長期的な計画で支援活動を行う事の報告が届きました。支援内容は、災害で両親を失った子供たちへの教育支援・ミルクの支給・心のケア・幼児センターの建設・その他です。そこでくるんて〜びの会としてそれらの活動に賛同し、今後協力していくことを緊急会議で決定しました。会員、関係者の皆様に活動内容にご理解を頂き、ご協力をお願いします。

くるんて〜びの会代表 原田君子

振込先：郵便振替口座・01710-0-47228 名称・くるんて〜びの会  
通信欄・スマトラ島沖地震

### FoEグループよりスマトラ島沖地震被災地への寄付のお願い

すでに皆さまご存知の通り、昨年12月26日に発生したインドネシア・スマトラ島沖を震源とする巨大地震とそれによりインド洋全体を襲った巨大津波は、十数万人もの人々の命を奪いました。被災地では感染症等によりさらに犠牲者が増える危険が高まっています。世界各国が緊急支援に協力していますが、空前規模の災害であり、事態は困難で切迫しています。

深刻な被害を受けているインドネシア・スマトラ島のアチェ地方では、FoEインドネシア(WALHI)の現地のディレクターも家族とともに亡くなりました。

インドネシアでは、FoEインドネシア(WALHI)、スリランカでは、Center for Environmental JusticeといったFoEの仲間たちが、それぞれ、地元で他のNGOと協力しながら救援活動に奔走しています。

各国のFoEメンバー団体およびFoEインターナショナルは、これらの被災地を支援するために募金活動を開始しています。

FoE Japanは、日本の皆さまからのご支援をお願いいたします。

募金方法は以下の2通りがあります。

#### ●FoEインターナショナルウェブサイトからのオンライン入金

<https://mailer.foei.org/donations/tsunamiappeal.php> (英語) クレジットカードで募金できます。

\*金額の欄がユーロ建てですのでご注意ください。

#### ●FoE Japanへの振込

郵便振替 00130-2-68026 FoE Japan \*通信欄に「津波募金」とご記入ください。

お問合せ：国際環境NGO FoE Japan 担当：中村

TEL 03-3951-1081 FAX 03-3951-1084

email [nakamura@foejapan.org](mailto:nakamura@foejapan.org)

<関連サイト>

FoEインターナショナル <http://www.foei.org>

WALHI (FoEインドネシア) <http://www.eng.walhi.or.id>

Center for Environmental Justice (スリランカ) <http://www.foei.org/tsunami/srilanka.html>

# イベント報告 1：国際援助を考えるシンポジウム

## 世界が語る日本のODA50年

1954年に始まった日本のODA（政府開発援助）が今年で50年になることから、去る10月11日、下記のようなシンポジウムを開催しました。なお、この催しはFNAを含む6団体の共催でした。

日本は1989年に世界一の援助国になって以来、現在までトップドナー国の一つです。しかし、援助を受け取る側の人たちにとって、日本の援助はどのようなものだったのか？援助の現実をチェックし、提言を行っている国際NGOの代表お二人をお迎えして、アジアから見た日本のODAを話していただくシンポジウムを開催します。

日本のODA予算は一年約9000億円。私たちの税金や年金・郵便貯金を原資とする援助のお金が「途上国」の人々の生活にどのような影響を及ぼしているのか、貧困、環境破壊、紛争など、ますます多くの人が貧窮に追い込まれている世界の現状に対して、日本のODAはどのような役割を果たしていくべきなのか、ともに考えてみませんか。

### プログラム：

- 1.イントロダクション～ODA50年を振り返る（実行委員会メンバー）
- 2.日本のODAはどこに行こうとしているのか（長瀬理英氏）
- 3.インドにおける日本のODA（サンディーブ・ペンセ氏）
- 4.アジアからの提言（ジャズミンダ・ルマン氏）
- 5.会場との意見交換

日時：2004年10月11日（月・祝日） 13：00～17：00

場所：福岡市NPOボランティア交流センター（あすみん） 打ち合わせスペース

### ゲストプロフィール：

サンディーブ・ペンセ博士（Dr. Sandeep Pendse） VAK（Vikas Adhyayan Kendra） スタッフ

VAKは1981年に研究者、知識人、社会活動家らにより設立されたNGO。人権や性差、最低限の生活保障、環境、宗教など社会の抱える問題を調査し、西インド地域においてコミュニティーの発展のためにさまざまな活動を行っている。

ジャズミンダ・ルマン氏（Ms. Jazminda Lumang） The Reality of Aid スタッフ

The Reality of Aidは、ODAに関する調査・政策提言を行っている国際NGOネットワーク。南北双方のNGOネットワーク40以上が集まり、1993年に設立された。貧困撲滅や公正な社会形成のために、国内レベル、国際レベルで行うべき効果的な手段について研究し、各国政府や関係機関、NGOに対しさまざまな提言を行っている。

長瀬理英氏（ながせ・りえい） 特別非営利活動法人 アジア太平洋資料センター（PARC） 理事

「日本人の暮らしのためだったODA」 著者「ODAをどう変えればいいのか」 編著者（共にコモンス刊）

PARCは1973年設立。南と北の人びとが対等・平等に生きることのできるオルタナティブな（今のようでない、もうひとつの）社会をつくることをめざし、世界からの情報の収集・発信、研究、自由学校を中心とした教育、さまざまな講演会やワークショップ、政府や国際機関への政策提言活動など多様な市民活動を行っている。

主催：ODA50年シンポジウム九州実行委員会（ODA改革ネットワーク九州、NGO福岡ネットワーク政策提言委員会、水政策チェック、アジア開発銀行福岡NGOフォーラム、JVC九州ネットワーク、債務と貧困を考えるジュピリー九州）

協力：NGO福岡ネットワーク

### 報告

参加者は40名。アンケート（回収数22）の回答内容は、「国益」よりも本当に人々のためになる援助を、NGOはそのために活動を、という感想がほとんどでした。

みなさま、ご協力いただきありがとうございました。

## シンポジウムのご案内

メコン・ウォッチによるセミナーのご案内です。詳しくは別紙チラシをご覧ください。

### 国際セミナー「巨大ダムはラオスの貧困を救うのか?」

～世界銀行・アジア開発銀行のナムトゥン2ダム支援を問う～

ラオスのナムトゥン2ダム計画は、日本が第2の出資国となっている世界銀行が支援をするかどうかで国際的に論議を呼んでいる大規模インフラ事業です。本当にこの巨大ダム事業はラオスの「貧困削減」につながるのか?今回、ラオス・タイ・アメリカで活動するNGOからパネリストを招き、同事業の社会環境影響、経済分析や、現地住民の現状を報告するセミナーを東京・京都・広島にて開催します。

関連HP: <http://www.mekongwatch.org/events/nt2symposium.html>

#### 【東京シンポジウム】

日時: 2005年2月11日(祝) 13:30-16:30 場所: 日本青年館 503会議室 定員: 90人

主催・問合せ・申込先: 特定非営利活動法人メコン・ウォッチ

Tel: 03-3832-5034 Fax: 03-3832-5039 E-mail: [event@mekongwatch.org](mailto:event@mekongwatch.org) URL: <http://www.mekongwatch.org/>

#### 【京都】

日時: 2005年2月12日(土) 16:00~18:00 場所: キャンパスプラザ京都

主催: ODA改革ネットワーク関西、SAGE 問合せ: ODA改革ネットワーク

詳細: <http://www.consortium.or.jp/campusplaza/access.html>

TEL/FAX: 075-381-7848 E-mail: [oda\\_net\\_kansai@yahoo.co.jp](mailto:oda_net_kansai@yahoo.co.jp) URL: <http://www1.jcaapc.org/oda-net/>

#### 【広島】

日時: 2005年2月13日(日) 14:00~ 場所: 広島市国際会議場3階研修室(平和記念公園内)

関連HP: [http://www.geocities.jp/hg\\_net2003/oda3.html](http://www.geocities.jp/hg_net2003/oda3.html)

主催・問合せ: グローバリゼーションを問う広島ネットワーク TEL/FAX: 0829-56-1799

E-mail: [hg\\_net2003@yahoo.co.jp](mailto:hg_net2003@yahoo.co.jp) URL: [http://www.geocities.jp/hg\\_net2003/](http://www.geocities.jp/hg_net2003/)

## イベントのご報告 2: NGO入門セミナー

9月23日(木・祝)、あすみん(福岡市NPO・ボランティア交流センター)にて、「やってみよう?!「海外暮らし&ボランティア」～その1歩を踏み出すために～」と題して「NGO入門セミナー」を開催しました。講師はそれぞれ日本語教師、ワーキングホリデーメーカー、ボランティアとして中国、ニュージーランド、チャドでの滞在経験がある池田真里子さん、井口史子さん、井上昭子さん。

参加者は12名で、ワークショップ形式でしたので、このような「勉強会」に参加したことのない方にも好評で、みなさん活発に発言していただきました。

会終了後のアンケートを見ると、「良かった」「これからいろいろな活動をやってみよう」との回答をもらいました。また、自分発見のきっかけになった、という感想もありました。

すぐNGO活動へ関わっていただくのは難しいかもしれませんが、少しでも活動に興味を持ってもらえていればいいと思います。

参加してくださったみなさま、講師の方々、ほんとうにありがとうございました。



## イベントのご報告 3

秋のイベントのご報告です  
ご協力ありがとうございました

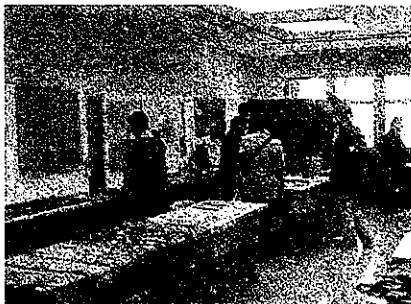
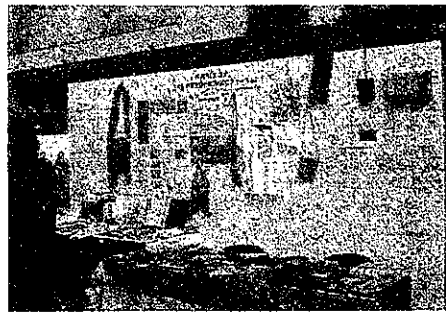
まついアミカス2004  
10月24 (日)  
会場：アミカス2Fロビー



地球市民さんたく2004  
10月23 (土)・24 (日)  
会場：天神ソリアアブラザ1F  
三宅さん、井口さん お疲れさま!

ハートフルフェスタ福岡2004  
11月6 (土)・7 (日)  
会場：博多リパシイン5F

飛原さん、古路さん  
ありがとうございました!



あきはるフェスタ2004  
11月27 (土)・28 (日)  
会場：クローバープラザ

嶋さん、林さん、寿輪さん、山田さん  
お疲れさまでした!

## FNA 日誌

2004年9月から2004年12月の活動紹介と、他団体活動への参加報告です。

### 2004年9月

- 12日 あすばるフェスタ参加団体打合せ・結団式 (会場: あすばるプラザ)
- 15日 FNA 運営委員会
- 18日 オープンアカウント 16号 発行
- 23日 NGO入門セミナー (講師: 井上さん、池田さん、井口さん)
- 24日 まつりアミカス結団式 (会場: アミカス)
- 28日 小冊子委員会: 鈴木さん勉強会 (会場: あすみん)

### 2004年10月

- 11日 国際援助を考えるシンポジウム 世界が語る日本のODA50年 (本誌7ページ報告参照)
- 23日・24日 地球市民どんたく (会場: ソラリアプラザ)
- 24日 まつりアミカス (会場: 福岡市アミカス)
- 25日 第27回MOF・NGO定期協議 (東京・財務省)
- 30日 地球市民どんたくセミナー (会場: あいれいふ)

#### <<賛同>>

IFC のセーフガード政策改定に対する NGO 声明 (とりまとめ Environmental Defense)  
(JACSES ウェブサイト <http://www.jacses.org/sdap/disclosure/ifc/index.html>)

### 2004年11月

- 6日・7日 ハートフルフェスタ (会場: 博多リバレイン)
- 9日 小冊子委員会 (会場: あすみん)
- 27日・28日 あすばるフェスタ (会場: クローバープラザ)

#### <<賛同>>

ADB 2nd Draft Disclosure Policy (とりまとめ Bank Information Center)  
(Bank Information Center ウェブサイト  
[http://www.bicusa.org/bicusa/issues/transparency\\_at\\_the\\_asian\\_development\\_bank/1714.php](http://www.bicusa.org/bicusa/issues/transparency_at_the_asian_development_bank/1714.php))  
(ADB ウェブサイト <http://www.adb.org/disclosure>).

### 2004年12月

- 2日 サムさん勉強会 「From Dammed to Liberation」 (会場: あすみん)
- 8日 地球市民どんたく実行委員会・反省会
- 19日 あすばるフェスタ反省会
- 21日 FNA 運営委員会

## ニュースちょっと読み

ADB に関するものを中心に情報を集めました。詳細についてはそれぞれの連絡先まで。

- ・開催候補地を京都に選定—2007年アジア開発銀行第40回総会 (MDBs Update 04/10/20)
- ・「サハリン2」の天然ガス、全量の販売先を確保 (MDBs Update 04/11/10)
- ・ウズベキスタン 社会政策充実にアジア開銀から1億6000万ドル (MDBs Update 04/11/17)
- ・アジア開発銀行総裁に黒田氏、正式選出 (MDBs Update 04/11/24)
- ・復興計画でADBに期待 谷垣財務相が総裁と会談 (MDBs Update 05/1/12)
- ・新たに貧困者200万人—スマトラ沖地震 (MDBs Update 05/1/19)
- ・サハリン石油開発に抗議 トナカイ、魚減少で先住民 (MDBs Update 05/1/26)

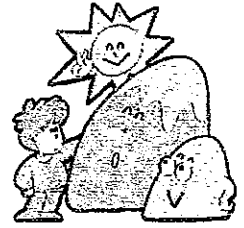
— 以上、「環境・持続社会」研究センター (JACSES) URL: <http://www.jacsces.org>

- ・タイ石炭火力>住民リーダーの暗殺 カオソット紙 (2004/7/14付) (9/17メコン・ウォッチML)
- ・ナムトゥン2ダム・キャンペーン6>パカムンダムの悲劇を繰り返す—軽視される被害住民の生活スタイル (9/23メコン・ウォッチML)
- ・メコン電力網>タイ産業界は反対 国際経済: アジアのエネルギー共有案はコストにつぶされるファイナンシャル・タイムズ誌 (2004/2/5付) (11/1メコン・ウォッチML)
- ・ADB トンレサップ湖計画の暴挙 プノンペン・ポスト (2004/6/14付) (11/3メコン・ウォッチML)
- ・怒江 (サルウィーン川上流) ダム開発>暫定的に中止 英国『ガーディアン』紙 (2004/4/10付) (11/15メコン・ウォッチML)
- ・中国本流ダム>小灣ダムがメコン河を堰き止める 新華社ネット昆明 (2004/10/26付) (11/26メコン・ウォッチML)
- ・ベトナム・セサン川ダム>セサン3にロシアが融資 ベトナム通信社 (2004/10/1付) (11/28メコン・ウォッチML)
- ・中国本流ダム>MRC (メコン河委員会) が影響を軽視 バンコクポスト 2004/11/20付) (12/1メコン・ウォッチML)

—以上、メコン・ウォッチ (<http://www.mekongwatch.org/>)

- ・スリランカ・南部ハイウェイ事業 —熊谷組代理業者に贈賄疑惑—産経新聞9月29日夕刊 <http://www.sankei.co.jp/news/040929/evening/30bus001.htm> (9/30 ODA-ML)
- ・プレスリリース—世界銀行グループの民間投資部門を担う・国際金融公社(FC)・環境社会配慮政策に弱体化の陰り・企業の社会責任(CSR)にも影響の可能性 発信元:「環境・持続社会」研究センター (JACSES)、メコンウォッチ、国際環境NGO FoE Japan (10/25 ODA-ML)
- ・水の民営化に反対する市民社会からの要望 (11/10 ODA-ML)
- ・スリランカ・南部ハイウェイ被影響住民、国連人権委員会へ申し立て <http://www.foejapan.org/aid/jbic02/srilanka/index.html> (12/7 ODA-ML)
- ・ADB・遵守調査パネル、南部ハイウェイ建設事業の異議申し立て資格を認める  
\*同事業の詳細内容は以下のサイト <http://www.foejapan.org/aid/jbic02/srilanka/index.html>  
\*ADB・政策遵守パネルのウェブサイト <http://compliance.adb.org/> (12/20 ODA-ML)

# FoE Japan 活動報告&交流会



昨年の「サハリン・オオワシ写真展」に続き、FoE Japanの福岡でのイベントです。

## FoE Japan 活動報告&交流会 in 福岡『わかる!世界の森林...日本の森林!』

世界の森林はいまどうなっているのでしょうか?相変わらず破壊され減少しているのでしょうか?それとも、森林保全が浸透しつつあるのでしょうか?

また、日本の国土を覆っている森林はこれから将来も私たちに豊かな恵みを提供し続けてくれるのでしょうか?世界と日本の森林の現状と私たちの役割について、みなさんと一緒に考えてみるイベントです。カジュアルな会です。はじめての方もどうぞお気軽にお越しください。

【日時】3月4日(金) 19:00~21:00

【場所】「あすみん」(福岡市NPO・ボランティア交流センター)福岡市中央区大名2-6-46 青年センター5F

【内容】FoE Japan の紹介、「わかる!世界の森林、日本の森林」(キーワード:貿易・開発、違法伐採、国内林業、フェアウッドキャンペーン)、FoE Japan の取り組み、質疑応答&意見交換 など

スピーカー:岡崎(代表理事)、中澤、三柴(森林プログラム)

【参加費】(資料&お茶代) FoE Japan/FNA サポーター無料、一般 300円(当日サポーター申込み可)

【お申込み】事前にお申込みください(3月2日まで、定員40名。FNA事務局(下記) または 国際環境NGO FoE Japan 森林プログラム 中澤 (nakazawa@foejapan.org)

Tel 03-3951-1081 Fax 03-3951-1084 <http://www.foejapan.org>

森林・林業視察ツアー in 大分・宮崎も参加者募集中! <http://www.foejapan.org/forest/jforestry/foresttour2004.html>

お申し込み・お問い合わせ・ご連絡は下記までお願いします。

〒810-0041 福岡市中央区大名2-6-46 福岡市立青年センター5階

福岡市NPO・ボランティア交流センター(愛称あすみん) 気付 連絡ボックスNo.24 FNA 行

(郵便物には必ず「連絡ボックスNo.24」を明記してください)

電話・ファクス:092-920-1873 (電話は留守番電話になっています。ご用件を録音してください)

Eメール [fna@minos.ocn.ne.jp](mailto:fna@minos.ocn.ne.jp)

新URL <http://www.geocities.jp/fnafukuoka/> (<http://fna.nngo.jp/>)

**\*会員募集中!** 年会費(1口)・正会員5000円・学生会員3000円・購読会員2000円\*

入会を希望される方は、氏名・住所・連絡先(電話・ファクス・Eメールアドレスなど)を事務局にご連絡ください。FNAの郵便振替用紙をご利用いただく場合、手数料は無料です。

### 「オープン・アカウント」とは?

英語の「アカウント」には二つの意味があります。ひとつは「銀行口座」ですが、もう一つは「アカウントビリティ」の「アカウント」、「説明」です。従って「オープン・アカウント」は「開設された口座」と「オープンな説明」とのかけこたえになっています。私たちがADBという公的金融機関を相手にアカウントビリティを求めていく目的でFNAの活動を始めたことから、ニュース・レターにこの名称を使うことになりました。ADBが口座開設(お金)にだけ腐心するのではなく、説明責任を果たす機関になってほしいと思います。

オープン・アカウント第17号(発行:2005年1月30日)

編集発行責任:FNA(エフナ・アジア開発銀行福岡NGOフォーラム) 運営委員会 編集:楠原圭子